

住民自治協議会だより



目次 P1；事業報告（総務部会） P2；事業報告（安全・防災部、教育・文化部会）
P3；事業報告（教育・文化部会） P4；事業報告・各区紹介（桜枝町）

平成23年9月1日発行 発行者 第一地区住民自治協議会 会長 竹本次雄

◆ 住民参加で活動盛り上がる！

住民自治協議会（住自協）が発足して2年目、安全・防災、健康・福祉、環境、教育・文化各部会を中心とした取り組みは内容も充実し、地域の皆さんに理解されて、参加者も増え活動の輪が広がっています。

地域の活性化、元気なまちづくりは、住民ひとり一人が活動に参画して交流を深め、連帯感を高めることが大切です。第一地区は住民主体の住自協の目標に向かって着実な歩みを進めています。

今年初めて企画した飯綱高原での三世代ふれあいハイキングには、小さなお孫さんを連れだった110名を超える参加者が、涼しい高原で子どもや孫たちとバーベキューを楽しみ、交流を深めました。

（主な事業は別掲）



総務部会

◇第一から第五地区合同「元気なまちづくり市民会議」

住自協主催の「元気なまちづくり市民会議」が7月15日（金）185名が参加し開催（議長：竹本西町上区長、司会：高森往生地区長）され、次のような提案がされました。

主な提案内容

1 地区共通課題（提案者：増田県町区長）

後町小学校の跡地を高齢者や子供たちが集える福祉施設や公園施設に整備したらどうか・・・

【市回答】

セントラルスクエア一体と関連した整備計画としH24年度末までに策定したい。

2 自由討議（提案者：坂口狐池区長）

ア 第一及び第四地区をケアする防災倉庫を加茂小学校敷地内に設置できないか・・・

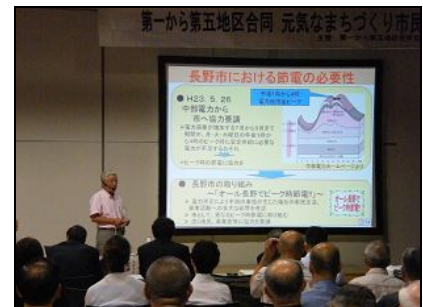
【市回答】

防災倉庫の配置基準は、裾花川、犀川、千曲川で橋が落ちた場合に分断される4箇所のブロック内でのバランスを考慮していることから、新たに設置することは困難である。

イ 災害発生の際、行政機関と地域の双方向に情報伝達できるシステムを構築してほしい・・・

【市回答】

新庁舎建設時にシステムの構築を計画している。



◇交通安全啓発運動に参加

7月22日（金）朝18名が参加し、「夏の交通安全やまびこ運動」にあわせて若松町交差点で通勤車を対象にティッシュとパンフレットを手渡ししながら、高齢者の歩行横断中の事故防止、シートベルトの着用徹底、飲酒運転の根絶等呼びかけ、街頭啓発活動を行いました。



◇とことこウォーキングの実施



7月12日（火）本年度第1回のウォーキング（第一地区公民館～善光寺～かるかや山往生寺往復4.1km）を行い19名が参加しました。途中の急坂では、皆さん汗だくとなりましたが全員往生寺に到着。絶景善光寺平を一望し、ひととき涼風を浴びました。3月末まで毎月第2火曜日（9月を除く）に行いますので、大勢のみなさまの参加をお待ちしています。

◇第2回住民福祉大会が開催されました

7月21日（木）信毎記者の河原千春さんから、長寿社会における認知症について伺いました。表立っては語られず孤立しがちな病気ですが、周囲が受け入れると認知症患者には笑いが戻ると言われています。

老いを否定せず、家族、友人、地域の人たちが支え合い、笑顔の輪が広がるような第一地区を目指した地域づくりが大切だと、お話を聞いて感じました。

講演会の前後に、血管年齢や血圧、体脂肪の測定を行いました。



◇「家庭と地域の子育て講座」6月18日（土）新諏訪町公民館

西部中学校長柳見沢宏先生自身が3月下旬に撮影した「東日本大震災の壊滅的な被害状況、恐怖の津波から助かった人々の体験談など」の映像を映し出して、「あたりまえに見ている生活、命のふるさとを育むふるさと・有り難さ・危険などを見つめ直すこと」の重要性を指摘。そして、しつけ講座で大切なことは、最近の子どもたちは群れで遊んだり活動することが少なくなって、心の動きが見えにくくなっていることを踏まえ、次の六つの課題について力説されました。

- ① 教職員に子どもたちの行動や心の動きの情報が入りにくくなっている。
- ② 子どもたちは大人化している。
- ③ テレビ・携帯電話などの映像によるスクリーン病化している。
- ④ 親や大人が忙しくなっている。
- ⑤ いじめ・不登校が多様化している。
- ⑥ 学校内だけで解決できない課題が増えてきている。



そこで、仲間・空間・時間の「間」を見つめ直す必要があり、子どもの「早寝」「早起き」「朝食」の基本的な生活習慣の形成、持久力・体力に支えられた知識・意欲・応用力・想像力を構築することの重要性を諭されました。



9月11日には、城山小学校の細井校長先生をお招きし、第2回の講座を第一地区公民館で開催します。

◇ドッチビー・ドッチボール大会」6月26日（日）加茂小学校体育館

加茂小学校体育館に子どもと大人約100人が集まり、盛大に開催することができました。子どもが少ない町からも一人、二人と参加して、大きな町の仲間と笑顔で語り合ったり激しく走り回ったりしている微笑ましい姿が見られました。

盛夏のような暑い中でしたが、私たち大人は、子どもたちが大粒の汗を床に落としながらエネルギッシュにボールを追いかけている姿、高学年の力強さ・迫力、超ファインプレーなどに歓声や拍手をしながら、成長している姿に感動していました。



茂菅チームの主力の子は、優勝した勝因を、「勝ちたい気持ちが強かった」「練習量の多さ」「チームプレー」の三点をあげていたことが忘れられませんでした。

秋にはキックベースボール大会（10月23日開催）を予定しております。大勢のみなさまの参加をお待ちしています。

◇「地域と学校の連携事業」7月1日（金）第一地区公民館

城山・後町・加茂小学校や柳町・西部中学校の校長・教頭先生、各町の育成会長、区長などが第一地区公民館に集まり、各学校から学校生活の現状、課題や地域連携について説明をしていただきました。

その中で、学校教育目標の具現、校舎や体育館の改築、子どもの数と学校規模、学力向上と新指導要領改訂、体力と学力、不登校生指導・支援、教職員の研修と時間数など様々な課題について浮き彫りにさせていただきました。

それに基づいた具体的なご指導・支援にありがたく、今後も家庭・地域の宝として宜しく願いするという意見が多数出されました。

そして、東日本大震災の避難所としての学校、学校施設と住民避難の仕方、避難生活のあり方などについて活発に質疑され、具体的なマニュアルづくりの必要性が確認されました。

◇人権同和教育・啓発活動研修会が開催されました



6月24日（金）「人権同和教育啓発活動研修会」が開かれました。今回は横沢町などの公民館と隣接する町合同で啓発ビデオ「ドキュメント結婚」の鑑賞と制作ディレクター野沢喜代さん（信越放送人権審議委員）の講演を行いました。相愛のカップルが結婚に際し体験した生の声を取材したビデオと野沢さんの話から、未だに根強い偏見、差別の現実を認識しました。参加者56名

◇自然を満喫 飯綱でふれあいハイキング



8月2日(火)小鳥や蝉の声が聞こえる小天狗の森で両親などに見守られながら、天岩戸、浮き島などのアスレチックに挑戦し、歓喜と笑顔ですっかりと小天狗気分になりました。そして、待望のバーベキューの下拵えを手伝い、爽やかな高原で一味違った焼肉に舌鼓を打ち、満面の笑顔でふれあいのひとときを過ごしました。参加者111名(子ども33名 大人78名)

◇夏休み子ども演劇創作体験発表会を開催

23年度「地域やる気支援補助金」を採択した第一地区芸術・文化によるコミュニティ創造事業の第一弾は、夏休みの8月5・6・7日の日程で城山の蔵春閣で子どもたちを対象に創作活動に取り組み、7日には約50名が参加して発表会が開催されました。子どもたちが自由な感性で(グループで相談しながら自分がやりたい役を決めてストーリーを作る)演劇を作って発表しあいました。発表した演劇



幼児の部 ・タラちゃんと像と蛙のお話 ・プリキュア忍者物語 ・氷山の秘密 ・プリキュアとシズカちゃん物語
小学生の部 ・夜中の学校の落書き ・舞踏会の落し物 ・夏休みの思い出 ・夜中の工事現場

連載企画

桜枝町

事務局職員が行く 各区レポート!

人口：535人

世帯数：283世帯

<「桜枝町」を紹介します(西沢区長)>

◆ 桜枝町表通り(約600m)は昭和45年頃まで100店以上が軒を連ね活気のある商店街を形成し賑やかでありましたが、近年、大型店の郊外への進出や少子高齢化が進み人口も減少傾向にあり、街並みも一変してしまいました。

町民の昔からの伝統を守る意識が強く、町の氏神天神社の節分追灘祭には善男善女により豆まきが行われ、秋祭りには桜姫獅子屋台が町内を巡行します。災害に強く環境の良い住みよい町づくり取り組んでいます。



◆第一地区住民自治協議会事務局：宮崎、岡村(第一から第五地区合同事務所内)◆

〒380-0835 長野市大字南長野新田町1485-1 もんぜんぱら座8階

電話：262-1217 (FAX兼) E-mail：dai1@clock.ocn.ne.jp

編集委員：柄沢申一、古畑幸雄、高森平二、松山嘉道、市民活動支援課：倉島